

市政出前講座

— 住み続けられるまちづくりを —
“もし災害が起こったら”
～自分の命は自分で守る～



7月27日に開催された出前講座では、市職員から災害の全般について次の内容をパワーポイントで説明されました。

- ①災害リスクの把握について
- ②風水害における警戒レベル
- ③市対策本部設置から避難所開設までの流れ
- ④防災情報の収集（防災アプリ、防災メール）
- ⑤避難所開設時の対応について
- ⑥地域内での役割分担 ⑦市の備蓄品

- ⑧非常持ち出し品・災害備蓄品 ⑨令和6年能登半島地震 ⑩地震発生時の行動パターン
- ⑪自分たちにもできることは？

- ・自然災害は人間の力では防げません。 ・普段から災害に備えましょう。
- ・自助、共助の観点から近所の方同士で声を掛け合い命を守るための避難や助け合いを。

説明の後皆さんからは、自主防災組織は発災時から動けるのか？、地域防災計画作成は必須なのか？等の意見交換があり、総じて上平地域が使いやすい、判りやすい防災関連事項をまとめていく必要を認識されていました。

いつ降りかかるとも知れぬ“災害”にご用心

本年の元日に発生した能登半島地震により、上平地域でも今まで経験したことがない震度5の揺れが起きました。震源地に近い能登半島では、最大震度7の揺れにより多くの家屋が倒壊し、大半の家が被害を受ける現実を突きつけられました。上平地域でも不安がよぎるところです。

最悪の状況もありえます。例えば ◎ 1月中旬に大雪警報下での巨大地震の発生があれば

- ・積雪 3m
- ・気温 -10℃
- ・震度 最大震度7
- 全木造家屋の倒壊が想定される
- 道路網が寸断され各集落が孤立状態化する
- ライフライン（電器・水道・通信）が寸断する

このような状況下の場合、各集落ではどのように生き延びるための対応を検討し共有されているか。或いは今後検討し、必要とする備品・装備等について話し合っておきたいものです。

① 防災ガイド

地震想定

南砺市では、市の地形や地質の状況を考慮し、市の周辺に位置する8つの断層帯と全国どこでも起こりうる直下の地震を対象に、震源となる活断層の位置や距離（長さ）、想定される地震規模（マグニチュード）などの情報に基づき、それぞれの地震が発生した際の震度を計算しました。地震防災マップは、南砺市を約50m四方単位（メッシュ）に分割し、メッシュごとに計算した各地震の震度の最大値を抽出して地図上に表現しています。

上平 アラカルト

この春からもいろんなことが行われています。その一端をご紹介します。

さわやかフィットネス教室

4月から11月の火曜日午後7時から1時間（月3回実施）、健康な身体づくりのための運動教室を行っています。気楽に誰でも参加できますよ。（詳細は五箇山スポーツクラブまで）

8/4 岩魚のつかみどり大会
(夏の親子体験)

夏休みこども教室

さくらサロン

月に一度、交流センターで開催しています。皆さんおしゃべりやゲームなどで「きのぼし」の時間を楽しんでいらっしゃいます。

車での送迎もあり、帰りは「皆口商店」で買い物もできますのでお気軽にご参加ください。

6/28 大人の料理教室

今回は、発酵食品を使ったメニュー♪ レシピは上平交流センターにあります。

今年も8月8日に交流センターで小学生対象の“夏休み子ども教室”が開催されました。おやつ作りやeスポーツなどで子供たちの夏休みだからこそできる体験にチャレンジしました。